

トビウオ通信 (R7第8号)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《令和7年度下半期浮魚中長期漁況予報》

令和7年10月31日に国立研究開発法人水産研究・教育機構から「2025年度第1回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報^{*1}」が発表されました。本予報は、対馬暖流域における主要浮魚類の令和7年度下半期（11月～3月）の漁況予報について、当センターを含む水産関係研究機関等で検討し、同機構が取りまとめたものです。今回は、この内容をもとに日本海における主要浮魚類の漁況予報の概要と令和7年度における島根県中型まき網における主要浮魚類の上半期（4月～9月）の漁況を併せてご紹介します。

*1 https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2025/files/20251031_ukiuo-tsushima-1st.pdf

日本海における漁況(来遊量)予報〔令和7年度下半期(11月～3月)〕

	漁況予報
マアジ	前年並み 
マサバ	前年並み 
マイワシ	前年並み 
ウルメイワシ	前年並み 
カタクチイワシ	前年を下回る 

※ ウルメイワシとカタクチイワシについては東シナ海の漁況予報を参照しています。

※ 「前年」は令和6年度下半期、「平年」は過去5年間の平均値を示します。

令和7年度下半期の漁況予報

(1) マアジ

＜日本海＞

来遊量：前年・平年並み。

漁期・漁場：期間を通して、日本海西部が漁場となる。

魚体：尾叉長16cm～24cmの1歳魚（令和6年生まれ）が主に、10cm～16cmの0歳魚（令和7年生まれ）及び24cm以上の2歳魚（令和5年生まれ）以上も漁獲される。

(2)マサバ

<日本海>

来遊量：前年並みで、平年を上回る。

漁期・漁場：期間を通して、日本海西部～中部の沿岸域が漁場となる。

魚体：尾叉長 25cm～28cm の 0 歳魚（令和 7 年生まれ）及び 28cm～32cm の 1 歳魚（令和 6 年生まれ）が主に、32cm 以上の 2 歳魚（令和 5 年生まれ）以上が漁獲される。

(3)マイワシ

<日本海>

来遊量：前年並みで、平年を上回る。

漁期・漁場：漁期前半に日本海西部、後半に日本海西部～中部の沿岸域が漁場となる。

魚体：下期前半（11 月～1 月）は被鱗体長 12cm～17cm の 0 歳魚（令和 7 年生まれ）が主体となるが、後半（2 月～3 月）は 18cm～23cm の 1 歳魚（令和 6 年生まれ）以上が主体に漁獲される。

(4)ウルメイワシ

<東シナ海> ※日本海における予報はありません

来遊量：前年・平年並み。

漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

魚体：被鱗体長 15cm～25cm の 0・1 歳魚（令和 7 年・6 年生まれ）が主に漁獲される。

(5)カタクチイワシ

<東シナ海> ※日本海における予報はありません

来遊量：前年・平年を下回る。

漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

魚体：被鱗体長 5cm～10cm の 0 歳魚（令和 7 年生まれ）が主に、10cm 以上の 1 歳魚（令和 6 年生まれ）が混じる。

島根県中型まき網における上半期（4 月～9 月）及び 10 月の漁況

(1)マアジ

令和 7 年度上半期のマアジの漁獲量は 2.2 千トンであり、前年同期（4.7 千トン）の 5 割、平年同期（5.9 千トン）の 4 割で前年、平年を下回りました。4 月は統計上漁獲がなく、漁獲のピークは 8 月でした。10 月は平年の 7 割で経過していました。

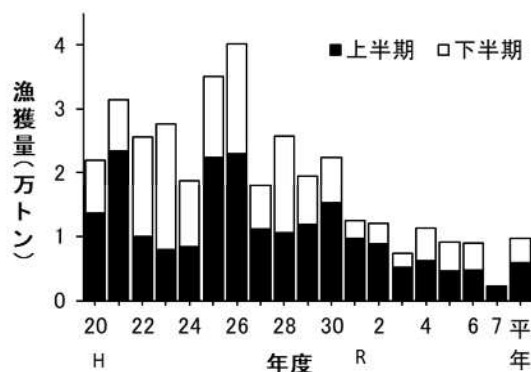


図 1. 島根県の中型まき網によるマアジの年度別漁獲動向（上半期、下半期*別）

※本図での下半期は「10 月～3 月」としています。

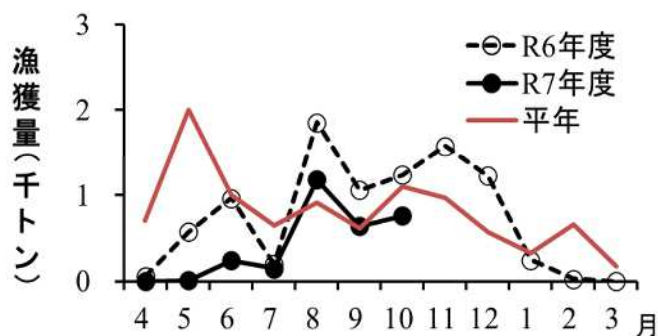


図 2. 島根県の中型まき網によるマアジの月別漁獲動向

(2) サバ類

令和7年度上半期のサバ類の漁獲量は1.9万トンであり、前年同期(1.9万トン)の1.0倍、平年同期(1.0万トン)の1.8倍で、前年並み・平年を上回りました。漁獲のピークは6月であり、6月、7月は平年を上回り、その他の月では平年並み又は平年を下回りました。10月は平年の4割となっていました。

※島根県の統計上、マサバと他のサバ類を分けていないため、漁況報告においてはサバ類と表記しています。

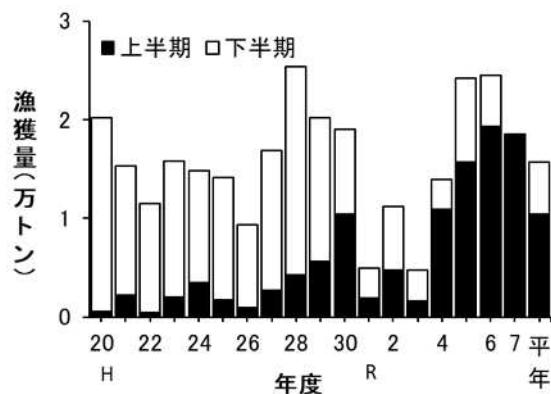


図3. 島根県の中型まき網によるサバ類の年度別漁獲動向(上半期、下半期※別)
※本図での下半期は「10月～3月」としています。

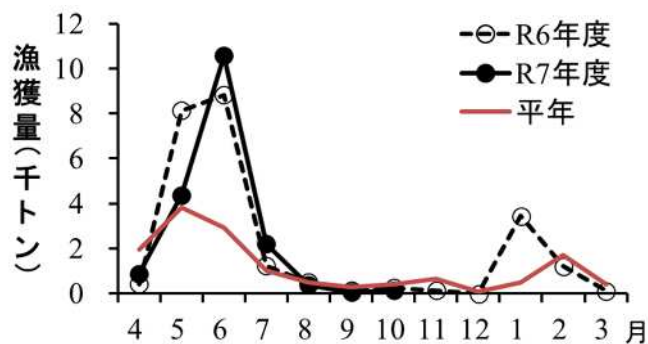


図4. 島根県の中型まき網によるサバ類の月別漁獲動向

(3) マイワシ

令和7年度上半期のマイワシの漁獲量は2.4万トンであり、前年同期(2.3万トン)の1.0倍、平年同期(1.7万トン)の1.4倍で、前年並み・平年を上回りました。漁獲のピークは3月～5月と前年、平年と比較して長く推移しました。10月は平年の1割と低調に推移していました。

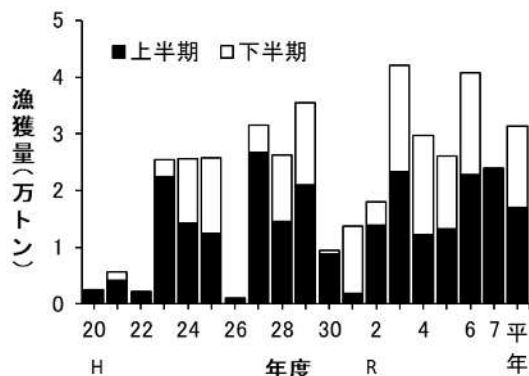


図5. 島根県の中型まき網によるマイワシの年度別漁獲動向(上半期、下半期※別)
※本図での下半期は「10月～3月」としています。

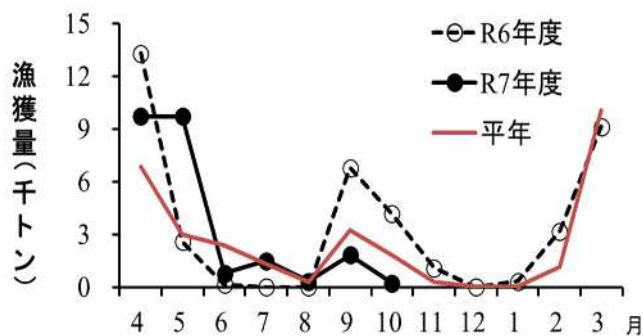


図6. 島根県の中型まき網によるマイワシの月別漁獲動向

(4) ウルメイワシ

令和7年度上半期のウルメイワシの漁獲量は4.1千トンであり、前年同期（3.7千トン）の1.1倍、平年同期（7.8千トン）の5割で、前年並み・平年を下回りました。漁獲のピークは7月であり、その他の月では平年を下回りました。10月は平年の1割未満と低調に推移していました。

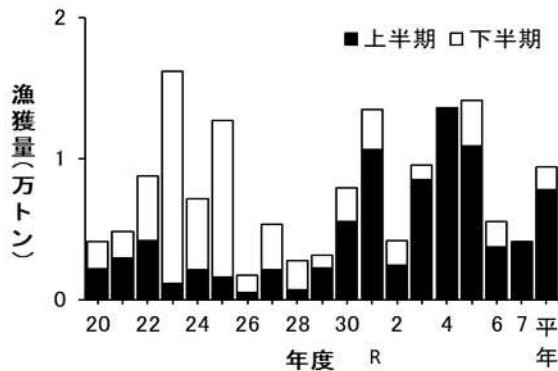


図7. 島根県の中型まき網によるウルメイワシの年度別漁獲動向（上半期、下半期*別）
※本図での下半期は「10月～3月」としています。

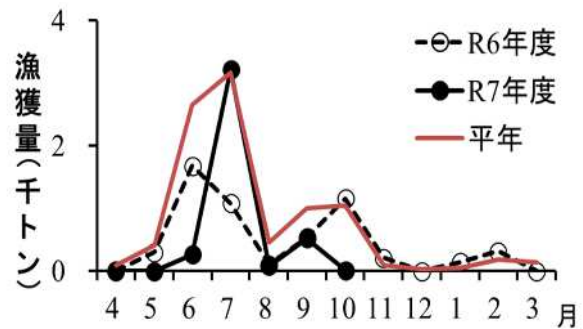


図8. 島根県の中型まき網によるウルメイワシの月別漁獲動向

(5) カタクチイワシ

令和7年度上半期のカタクチイワシの漁獲量は0.02千トンであり、前年同期（0.5千トン）の1割未満、平年同期（1.5千トン）の1割未満で、前年、平年を大きく下回りました。上半期を通して月別漁獲量は平年の1割未満であり、不漁の状況が続いています。10月も統計上漁獲がありませんでした。

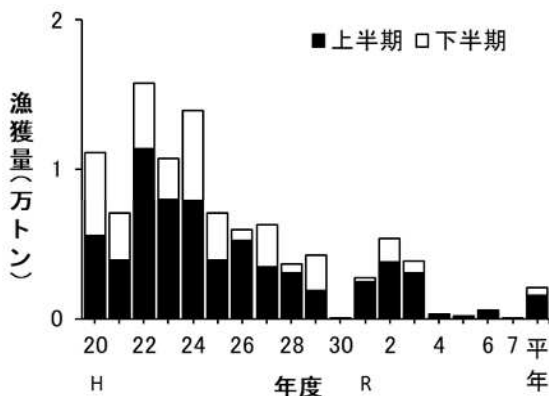


図9. 島根県の中型まき網によるカタクチイワシの年度別漁獲動向（上半期、下半期*別）
※本図での下半期は「10月～3月」としています。

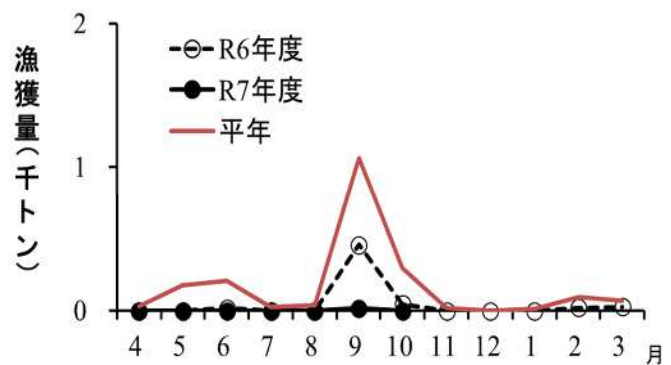


図10. 島根県の中型まき網によるカタクチイワシの月別漁獲動向